
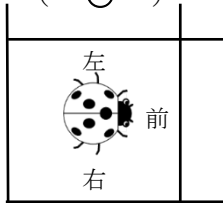


解答例

適性検査 I

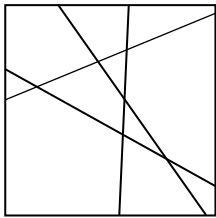
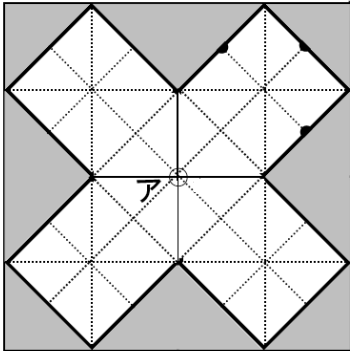
1	問題 1	本を読み通すだけでなく、積極的に調べたり、ちがう本を読んだりする ようになる。	10点
	問題 2	本の内容が二十年後にも通用するという見通しをもって書くようにする という態度。	20点
	問題 3	(省略)	70点

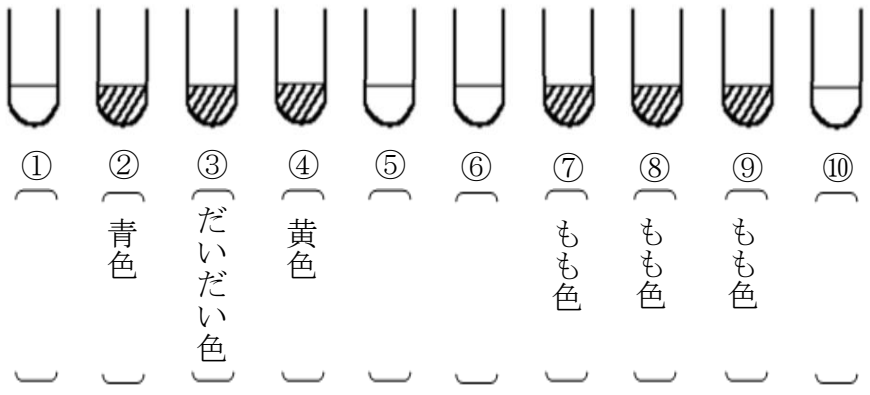

適性検査 II

1	問題 1	<p>[しおりにする前の状態]</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 200px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">傘</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">五</td> </tr> </table> </div>	傘							五	6点
	傘										
				五							
問題 2	<p>約束 2 で表現したときの漢字と数字の合計の個数 4 4 個 漢字と数字の合計の個数が少ない約束 1</p> <p>[理由] このも様では、文字と数字でも様を表現するとき、列よりも行で表現したほうが、同じ色がより多く連続するため。</p>	12点									
問題 3	<p>[「★」の位置に置くおもちゃの向き]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>( )</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>( ○ )</p>  </div> </div> <p>[カードの並べ方]</p> <p style="text-align: center;">① ② ⑤ ④ ① ② ⑤ ① ③ ①</p>	12点									

2	問題 1	選んだ年代：(40) 歳代	5 点
		「いつも実施している」、「ある程度実施している」の割合を合わせると20歳代は60%をこえ、(40)歳代は(80)%をこえている。また、「あまり実施していない」、「ほとんど(全く)実施していない」の割合を合わせると20歳代は(30)%をこえるが、(40)歳代は(20)%にも満たない。	
	問題 2	(1) 選んだ容器名：(ペットボトル) 図2の記号：(A) 図3の記号：(E)	17 点
	(2) 紙パックは回収に出さずに、他の紙くずといっしょにごみとして出してしまうから。		
3	問題 1	[比べたい紙] プリント用の紙 [基準にするもの] 紙の面積 [和紙は水を何倍吸うか] 2.3倍	6 点
	問題 2	[選んだ紙] 新聞紙 [せんいの向き] B方向 [理由] 実験2の結果ではどちらの方向にも曲がっていないのでせんいの向きは判断できないが、実験3の結果より短ざくBの方のたれ下がり方が小さいから、せんいの向きはB方向だと考えられる。	12 点
	問題 3	(1) A (2) 4回めのおもりの数が3回めより少ないので、なるべく紙がはがれにくくなるのりを作るために加える水の重さが、3回めの70gと4回めの100gの間にあると予想できるから。	12 点

適性検査Ⅲ

1	問題 1	<p>(1)</p> 	10点
		<p>分けられる部分の数：11</p>	
		<p>(2) 分けられる部分の数：8</p> <p>説明 正方形の紙の中で、直線が交差しないように7本の線を引く。</p>	
	問題 2	<p>元の大きさに開いた図</p> 	20点
		<p>アをふくむ紙の面積：250 cm<sup>2</sup></p>	
	問題 3	<p>面の数：20</p> <p>説明 正三角柱のちょう点を切りはなしてできた立体の面の数は、正三角柱の面の数とちょう点の数を足したものと同じになる。正三角柱の面の数は5、ちょう点は6だから、切りはなしてできた立体の面の数は11になる。また、ちょう点の数は正三角柱の辺の数と同じだから九つある。この立体にもう一度同じことをすると、面の数は11+9で20になる。</p>	20点

2	問題 1	<p>(1) 調べる手順 ①～⑨の紙をそれぞれ別の試験管に入れた水であらい、あらった液をじょう発皿の上でかんそうさせる。</p> <p>(2) 結果 ⑦と⑧に無色の薬品 X が残り、②と③に無色の薬品 Y が残る。</p>	10点
	問題 2	<p>(1)</p>  <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩</p> <p>〔 青色 だいだい色 黄色 もも色 もも色 もも色 〕</p> <p>(2) 9本めで、もも色が出終わった場合</p> <p><math>1 \div 0.04 \times 9 \times 7 = 1575 \text{秒}</math>    <math>1575 \div 60 = 26 \text{余り} 15</math></p> <p>(答え) 26分15秒</p>	25点
	問題 3	<p>(1) 見分けるための紙</p> <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>(2) 手順</p> <p>① 調べたい液に色素 E を混ぜて、紙の下から少し上の部分につける。</p> <p>② クロマトグラフィーを行い、紙の上の方まで水をしみこませる。</p> <p>(2) 結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬品 A が入っているときは C のラインに色がつく。</li> <li>・薬品 B が入っているときは D のラインに色がつく。</li> <li>・どちらも入っていなければ C のラインにも D のラインにも色はつかない。</li> </ul>